

「変化する様式 変わらない人間へのまなざし」

— 小林裕児 1967～2015 —

〈多摩美術大学退職記念展〉

「Changing the Style, Unchanged gaze to the Human」

- Yuji KOBAYASHI 1967～2015 -

会期:2015年5月30日(土)～6月21日(日)



ごあいさつ

この度、多摩美術大学美術館において「変化する様式 変わらない人間へのまなざし」(小林裕児 1967—2015)と題する展覧会を開催することになりました。私が造りだしたものをあらためてふり返ってみますとほとんど全ての作品が人に対する興味と感心から発想され、表題的な構想の下に制作されています。油彩、テンペラ、ドローイング、立体と一見、自由気ままに様々なスタイルで制作してきたようにも思いますが、常に人間の「生」に対する葛藤のドラマを描いてきました。今展では大学入学前の若描きの作品から最近作まで大作を中心に展示いたします。この機会にどうぞ小林裕児の全貌をお楽しみいただければ幸いです。

小林裕児

This time, I will hold the exhibition entitled "Changing the Style, Unchanged gaze to the Human" (Yuji KOBAYASHI, 1967-2015) at the Tama Art University Museum of Art. When I look back to consider what stirred my muse, the bulk of the works were inspired by admiration and interest in people, and were produced under the literacy initiatives. Oil, tempera, drawing and three-dimensional works. These indicate that I have created a variety of styles from liberated and unregimented emotion. I created the drama of conflict against the "lives" of humans. In this exhibition I will display those artworks created before entering university and up until the present day. I hope you'll enjoy the whole story of Yuji KOBAYASHI.

Yuji KOBAYASHI

展覧会名及び概要

- 展覧会名(日): 「変化する様式 変わらない人間へのまなざし -小林裕児 1967~2015-」〈多摩美術大学退職記念展〉
展覧会名(英): 「Changing the Style, Unchanged gaze to the Human -Yuji Kobayashi 1967~2015-」
会期: 2015年5月30日(土)~6月21日(日)
休館日: 毎週火曜日
開館時間: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
主催: 多摩美術大学
協力: 横浜美術館、中ノ沢美術館、上越市、九ツ井、ギャラリー椿、車木工房、公益財団法人たましん地域文化財団
展覧会会場: 多摩美術大学美術館(東京都多摩市落合1-33-1 〈TEL 042-357-1251〉)
出品作品: 約90点
入館料: 無料
交通: 多摩センター駅 徒歩7分(京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール)
お問い合わせ先: 多摩美術大学美術館(〒206-0033 東京都多摩市落合1-33-1)
〈TEL 042-357-1251 FAX 042-357-1252〉
URL <http://www.tamabi.ac.jp/museum/> (本展担当 小林 宏道 museum@tamabi.ac.jp)
多摩美術大学 版画研究室 〈TEL 042-679-5621〉

展覧会の特徴

1948年生まれの小林裕児教授、多摩美術大学定年退職を記念して19歳の初期の油彩作品から2015年の現在に至る作品を紹介いたします。
時代と共にひたすら描くことで自己の絵画世界を押し広げながら、ジャンルを横断し歩んできた歩みを振り返ります。

展示物

1. 油彩テンペラによる絵画作品 50点
2. 版画作品 20点
3. 無垢材をくりぬいた丸木舟にペイントした大型作品をはじめとした木、ブロンズなどを組み合わせたレリーフ状の絵画作品 15点
4. 彫刻、ボックスアート
5. その他、絵本、画集、図録、本の装丁
6. ライブパフォーマンス、TV番組の映像公開

関連イベント

●ライブペインティング

小林裕児（ペインティング） 齋藤徹（コントラバス・作曲） 上村なおか（ダンス） ジャン・ローレンサスポータス（ダンス）

日時：5月30日（土）14:30～16:00

会場：1F 展示室

定員：定員 50名 料金：無料

会場内に設置した大きな紙に小林裕児が即興で絵を描きます。

今回は、異能の音楽家齋藤徹氏（作曲家、コントラバシスト）、コンテンポラリーダンスの世界で活躍する上村なおか氏、ジャン・ローレンサスポータス氏との即興によるセッションとなります。音やダンスといった時間の芸術とのコラボレーションは、その場に立ち顕われる「なにか」を形にしてゆくことでもあります。1999年以来度々行って来たこのパフォーマンスは「絵画とは何か」という問いかけとともに展開して来ました。この空間を共有する時間を楽しんでいただければ幸いです。

●記念講演

本江 邦夫氏（多摩美術大学教授）

日時：6月7日（日）13:00～15:00（開場 12:30）

会場：多摩美術大学美術館 B1 階多目的室

定員：定員 100名 料金：無料

小林裕児が歩んできた絵画への様々なアプローチを歴史的な枠組の中でとらえる試みをします。また作者との質疑応答の時間も設けます。

各イベント申し込み方法・お問合せ

往復ハガキか E-mail にて必要事項を記入の上、下記までお申し込みください。

(1) イベント名 (2) 郵便番号・住所 (3) 電話番号 (4) 緊急連絡先（携帯など）

(5) 氏名（フリガナ）(6) 性別 (7) 年齢（学年）

送付先：〒206-0033 東京都多摩市落合 1-33-1

多摩美術大学美術館 小林裕児退職記念展 イベント係

TEL:042-357-1251 FAX:042-357-1252 E-mail:museum-event@tamabi.ac.jp

小林裕児 (Yuji KOBAYASHI)

1948年東京生まれ。東京藝術大学油画科、同大学院修了

1987年第64回春陽展賞を受賞

1989年にそれまでの細密な画風を転換

1996年「夢酔」で第39回安井賞を受賞



個展

なんば高島屋をはじめとする高島屋グループ、三越本店、ギャラリー椿等全国のギャラリー、Hopper house (N.Y)、Lodz 美術大学ギャラリーなど国内外で多数開催。

グループ展

春陽展、安井賞展、北京ビエンナーレ、日本秀作美術展、

In commemoration of the 100th anniversary of Wisconsin Painters and Sculptures inc .U.S

Set Monado/ バルセロナ Galeria Dart Zero、RITA YANNY 小林裕児二人展、韓日交流美術展ソウル、具象の未来へ (シンフォニア岩国) などに参加

制作は毎年春陽展に展示する油彩 / テンペラの3メートル半の大作にとどまらず、版画、立体、膨大な量のドローイング、壁画制作、齋藤徹氏をはじめとする音楽家や内外の様々なジャンルのアーティストと共に行うライブパフォーマンスの試みなど、常に新しい絵画の可能性を探求している。

現在 多摩美術大学教授、一般社団法人春陽会会員、日本美術家連盟委員、

2013年8月ポーランドLodz市の美術大学でカウス主催のサマーセミナー講師を務めた。

広報用画像

※画像 1～6 を広報用にご提供いたします。ご希望の方は、多摩美術大学美術館までお申し込み下さい。

《油彩、テンペラ作品》



1.



2.

《立体作品》



3.



4.

《版画作品》



5.



6.

広報用作品詳細

《油彩、テンペラ作品》

1. アリア A

1987年、227×182cm (F150)、油彩、テンペラ／キャンバス

2. 夢酔

1995年、182×227cm (F150)、油彩、テンペラ／パネル

《立体作品》

3. 羽を付けた男

2012年、63.5×48.5×4cm、樟材、アフリカのビーズ細工／油彩、テンペラ

4. 緋色の空舟

2000年、400×40×25cm、桂材／油彩、テンペラ

《版画作品》

5. 壁を抜ける男

2007年、35×45.5cm ed.10、コラグラフ

6. 森のオイディプス

1999年、30×45cm ed.30、コラグラフ

表紙 浸水の森

2010年、273×350cm、油彩、テンペラ／パネル

広報計画

アート関連の各種媒体へのリリース、美術関係各社へのフライヤー・ポスターの配付、多摩美術大学卒業生への広報、webサイトでの展開。

※プレスデータ：美術館webサイトよりダウンロード可能

※広報用作品画像：美術館へ問合せで配付

- 1) 新聞社、雑誌、ジャーナリスト、ライター等への情報リリース
- 2) 2015年4月初旬プレス関係告知
- 3) webでの情報公開、多摩美術大学美術館・多摩美術大学公式サイトでの告知宣伝
- 4) フライヤー配付 フライヤー 20,000部、各美術館、ギャラリー、他美術大学へ配付
- 5) 多摩美術大学のOB・OGへの広報

お問い合わせ先

本資料に関するお問い合わせ 画像請求のお問い合わせ

多摩美術大学美術館

〒206-0033 東京都多摩市落合 1-33-1

TEL 042-357-1251 FAX 042-357-1252

URL <http://www.tamabi.ac.jp/museum/>

学芸員 小林 宏道・淵田 雄・吉田 公子

(本展担当 小林 宏道 museum@tamabi.ac.jp)